

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 たけのこクラブ大楠

保護者等数(児童数) 38

回収数 22

割合 58%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	96%	4%	0%	0%		・大きく分けて3つのスペースで活動を行っており、静の活動、動の活動と過ごしやすいように工夫をしている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	82%	14%	0%	4%	・わかりません	・配置基準を満たしているが、手厚い支援が行えるように努力を行っていく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	86%	14%	0%	0%		・安全にご利用いただけるよう配慮しているが今後必要に応じて対応していく。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	96%	4%	0%	0%		・保護者様との話し合いで目標設定を行っているが、今後さらに具体的な支援目標になるように努める。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	96%	4%	0%	0%	・プログラムが曜日で決まっているので月によっては固定のプログラムになってしまう	・決まった曜日をご利用の方でも様々な活動をしてもらえるよう対応していく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	67%	23%	0%	10%	・他所の子供たちと遊んでいるとは聞いたことありません	・コロナ過もあり現状機会が少ないため今後検討していく。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		・今後も丁寧に説明を行っていく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%		・送迎時やお電話で気になる様子や課題などをお伝えしているが、必要に応じて会議などの機会を設けていく。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	96%	4%	0%	0%		・定期的な面談と状況に応じて対応しているが今後もきめ細かに対応出来るよう努めていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	46%	54%	0%	0%	・特に問題なし	・コロナ過以前は行っていた。今後必要に応じて開催が出来るよう検討していく。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	91%	9%	0%	0%		・苦情などがあった場合には職員間で話し合いを行い再発防止の努めていく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%	0%		・今後も状況に応じて適切に対応出来るよう努めていく。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	87%	4%	0%	9%		・毎月の予定表やイベント詳細など必要に応じてプリント配布を行っているが、今後はより詳しく伝えることが出来るように努力していく。
14 個人情報に十分注意しているか	96%	4%	0%	0%		・設備を整え厳重に管理している。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	83%	13%	0%	4%		・状況に応じて配布、ご説明しているが今後より周知していく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	91%	9%	0%	0%		・各災害に備えた訓練を定期的に行っている。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	100%	0%	0%	0%	・とても喜んでます	・児童の意見も取り入れながらより主体的な活動を提供できるように工夫をしていく。
	18 事業所の支援に満足しているか	96%	4%	0%	0%	・気付かない所をサポートして貰ってとても助かっています ・長期休みの利用時間を早めて欲しい	・可能な範囲でご要望にお応えできるように努めていく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 31日

事業所名 たけのこクラブ大楠

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	・用途で場所を使い分けている。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	・児童の特性や状況に応じて適切に配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	・衝撃吸収のマットや突起物の保護など怪我につながらないよう配慮している。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	・会議にて細かく話し合っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・活動内容や個別対応など児童の特性に合わせた支援となるように努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・施設内での掲示、ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	・療育会を行いアドバイスをもらっている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・毎月実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・担当会議、モニタリング、日々の聞き取りなどを元に適切に作成するよう努めている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	・児童に合ったものを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・毎月チームで話し合いを行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・児童の特性や年齢に応じて様々な活動が出来るようにしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	・長期休暇時、戸外活動や他児と協力できる作品作りなどを取り入れている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・個別に支援が必要な内容と小集団での支援内容を分けて記載している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・予測できる児童の行動について話し対応の仕方やスタッフの配置などを確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	88%	12%	・トラブル等があった際は職員間で話し合いを行い再発防止に努めている。	・新人のスタッフ等へも行き届くようしっかり共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	88%	12%	・各児童の活動を必ず記録している。	
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・6か月に一度モニタリングを行い必要に応じて見直している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%	・ガイドラインに沿った様々な活動を行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・児童発達管理責任者が必ず参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	・送迎時など担任の先生と情報交換を行い必要に応じて連絡をとっている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%	・医療的ケアが必要な場合は事前にしっかり体制を整えての受け入れをしている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	・必要性がある場合は情報共有するよう努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	・必要な児童には情報共有できる体制を整えている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75%	25%		・連携強化の体制作りを検討していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	38%	62%		・交流できる機会を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	38%	62%		・コロナ過で参加を自粛していたが今後は参加を検討していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・送迎時に保護者様に気になった点について伝えるようにしている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	75%	25%	・外部講師による療育会が行われている。	・療育会後もしっかりと保護者様のフォローなど行っていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	88%	12%	・ご契約時に行っている。	・より丁寧にご説明するよう心がけていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・相談があった際は責任者が行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	・定期的に行っている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・保護者様の意見を聞き、状況説明、今後どのように改善していくかお伝えしている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・月ごとに行事予定を配布している。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	・設備を整え厳重に管理している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・筆談やメモ、具体例を挙げた伝え方など相手に合わせた方法を取り入れている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50%	50%	・どんたくへの参加や地域の餅つき大会等があった際は参加している。	・こちらから招待することは無かった為、検討していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	・職員には入社時と定期的にミーティングで説明し保護者様には契約時に説明を行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・各災害を想定し2か月に一回実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・定期的に会議にて行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	88%	12%	・保護者様とお話しし、相互理解が出来たうえで記載している	・保護者様へ説明し、理解していただいた内容を会議などでしっかり職員へ共有していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	88%	12%	・必ず保護者様から聞き取りし対応している。	・全職員が把握しやすいよう工夫し共有していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・毎月送迎時のヒヤリハットなど事例を出し共有している。	